

ACT NEWS

エー・シー・ティ ニュース

こんにちは！ACTニュース編集部です。暖かい日が続くようになりましたね。小学校6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学生になってもトライ・アンド・エラーの気持ちで、新しいことにチャレンジしてください。それでは令和4年度に実施された湯河原町3小学校でのACTを振り返っていきましょう！

ACT NEWS 第12号 2023年3月発行 発行元：湯河原町教育委員会・特定非営利活動法人 まなびとくらし

小学校でのACT

小学校のACTは中学校と同様に、わたし（自分自身）と、あなた（他者）と、みんな（グループ・クラス＝社会）と向き合う、コミュニケーションをテーマとする芸術体験を通じたワークを実施しています。小学校での3回は生きていくことの根幹となる「感覚・感性・表現」をめぐる学びの下地をつくりたいと考えています。

6年生「うれしいってどんな色？」

東台福浦小学校 9月27日
湯河原小学校 10月4日



6年生の1回目は秋に実施しました。吉浜小学校は5年生の時にお休みした「耳をすますとわかること」を行いましたので、この後の報告をお読みください。

ここでは嬉しい時の気持ちを抽象画で表現します。自分の気持ちを表現する作品ですから「こう描きましょう」という技法はありませんし「上手/下手」という見方や評価もありません。まれにお手本通りを目指さない表現に戸惑う児童もいます。「正解のない自由さ」は、時には不自由なことでもあるのです。ACTはその「不自由さ」にも共感し、寄り添っています。

みんなの感想は「ぼくがいつも描いている絵は形を表す絵だけど、無いものを形にするのは初めてだったから楽しかった」「最初は何を描けばいいかが分からなかったけど、描いてる内に楽しくなっていた」「いつもは自分の気持ちを心の中に留めているけど、今日、自分の気持ちを絵に描いてみたらスッキリした気がした」「字とか声じゃなくても表現できるし、相手に伝えることができると分かった」「表現することはこんなに楽しいんだ！と思った」「友だちの絵を見て共感したり、ここがいいね！とか、ここが好き！などと話すのがすごく楽しくてまたやりたい」「カラフルな気持ちを描けて楽しかった」「強く描くところと弱く描くところの区別をつけて描いたら、感情がよく出た気がした」「言われたことを描くよりも、何も言われずに描く方がたいへんなことがわかった」「同じ班の3人の絵がすばらしかった。太い線で描くと嬉しい気持ちが爆発しているように見えた」「暗い色はネガティブな色だと思っていたけど、友だちの絵を見たらそうとは限らないと思った」などなど。

6年生「マシュマロ・チャレンジ」

湯河原小学校	2月21日
吉浜小学校	2月22日
東台福浦小学校	2月28日



6年生2回目はマシュマロ・チャレンジを実施しました。3～4人1組になり、パスタを材料に構造物をつくって、マシュマロをできるだけ高い位置に置き、その高さを競います。世界公式ルールに則って行いました。ちなみに世界記録は99センチだそうです。

まずはグループで10分間の作戦会議。どういう構造物だと建ちやすい？どうしたら強度は保てる？安定感を持たせるには？などを相談。その後、合図でスタート！制限時間は20分。楽しみながらトライ・アンド・

エラーの必要性を学びました。小学校の楽しい思い出の1つとして、友だちと協力して創意工夫と達成感、時に残念な気持ちを感じながら、たくさんの笑い声と共に過ごしました。

みんなの感想です。「楽しかったけど、くやしかった」「これからは『少しずつ』に気をつけてみよう。トライとエラーをセットで繰り返しているうちに成功するから」「失敗は今まであまり良いイメージではなかったけど、今回のACTで結構よいことなのだと分かった。失敗は成功のもと」「みんなアイデアを出しあって60センチまでいった。すごく楽しかった」などなど。

5・6年生 「耳をすますとわかること」

吉浜小学校 6年生	9月27日
湯河原小学校 5年生	3月 1日
東台福浦小学校 5年生	3月 7日
吉浜小学校 5年生	3月 8日

6年生は昨年度中に実施できなかった吉浜小学校のみなさんと9月に実施しました。5年生は3月上旬に「はじめまして」のご挨拶と共に。

導入部では1分間の「沈黙をつくる、静寂を聞く」のワークを実施。遠い音、小さい音に耳を傾けました。

耳の感度も上がったところで、グループに分かれて校内の音探しの旅に出る「GO OTO トラベル」。おもしろい音や美しい音を探す、小さな冒険です。多くの児童が学校の音風景や自分を取り巻く世界に対して傾聴する姿勢を見せ、真剣に耳を傾けてくれました。



同じ風景の中にも「何が聞こえてきたのか」は、人それぞれです。なので、みんなに聞こえている音もあれば、2～3人にしか聞こえなかった音もありますし、私にしか聞こえない音もあるのです。すべての人が同じものを同じように感じているわけではない、という感性の違いを実感する時間となりました。

みんなの感想には「静かにしたら、今まで聞こえなかった音も聞こえるようになったことにびっくりした。自然の音を聞いていたらどんどん耳が慣れてきていっぱい音が聞けるようになっていった」「生活をしていれば普通に音は聞こえてきますが、不思議だと思うことはありません。でも、今日初めて音に興味を持たた気がして、不思議な気持ちになりました」「発表で言い忘れたけど、ヒューっという風の音が聞こえて自分には心地よい音だったのでよかったと思った」「今までは教室まで聞こえるとは思っていなかった波の音が聞こえた」など、感性豊かな言葉がたくさん書かれていました。